USBドライバインストール後、モデムとの通信がうまくいかない場合(Windows 98 SE)

2009 年 8 月 31 日 日本無線株式会社

1.AH-J3001V/AH-J3002V(以下、本電話機)とパソコンを USB 接続します。

2.「スタート」「設定」「コントロールパネル」を開きます。

	*	Windows Update		
	•••	ን ከታ ን ኋ (፻)	ł	
	۲	お気に入り(<u>A</u>)	Þ	
	1	最近使ったファイル(<u>D</u>)	ř	
	R .	設定(S)	ŀ	ີ≊ ລະ/ຄ−ມ /°ຈີມ(<u>©</u>)
		検索(<u>F</u>)	Þ	 ✓ / / / / / / / / / / / / / / / / / / /
	2	^ルフ°(<u>H</u>)		Q フォルダ オプション(E) Ø アクティブ デスクトップ(A)
s 98	2	ファイル名を指定して実行(<u>R</u>)		🖏 Windows Update
low		ወበታオフ(L)		
Ň		Windows の終了(U)		
	スタート] 🏉 🗊 💋 🗍		

3.下記画面の<u>「モデム」</u>アイコンをダブルクリックします。

🗟 ጋንክብዙሥ እ	°ネル					
] ファイル(E)	編集(<u>E</u>) 表	示⊻ 移動(<u>3</u>) お気に入	り(<u>A)</u> ヘルプ(Ð)	<u> 1</u>
】 ● → 戻る →	→ 、	亡 上へ 切り取	מי של -	23 : 貼り付け 元(の × 涙す 削除	ביאס איז
] アドレス(<u>D</u>) 🧧	אין אריםאעב 🖻	ネル				•
Intel(R) PROSet	ODBC データ ソース (32ビー)	PC カード (PCMCIA)	アプリケーション の追加と削隊	インターネット オプション		そし ゲーム ユントロ
אַכלי ע) Эдть	ズン デスクトップ テ ーマ	ぷ テレフォニー	リン ネットワーク	くしていていていていていた。 バードウェアの 追加	パスワード
入れ フォント) 792%	ליד גליד	ม จุมร _ั งรังว) 🥵 ユーザー	した ユーザー補助
	议》 地域	し 電源の管理	日付と時刻			
。 1 個のオブジェク	トを選択		新しいモデ	ムをイ: 🛄 マイ :	ルビュータ	

4. モデムのプロパティが表示されますので、検出結果タブをクリックします()。

モデムのプロパティ	? ×
全般 検出結果	
	1
\sim	
ポート インストールされているデバイス	
COM1 モデムはインストールされていません	
INTERNATION COM	
I 🐟 COM3 JRC USB Modem	
I ABCDE F-Cable X	
ドライズ(の) 「詳細味語(か)」 へルプ(用)	- I I
	I
OK	211

「XXXYYYZZZ Modem」、「ABCDE F-Cable X」は実在するモデムではありません。

5.検出されたモデムの一覧及び指定 COM ポート番号が表示されますので「JRC USB Modem」に割り当て られた COM 番号と重なっている(同じ COM 番号の)モデムが無いかどうかをチェックします()。

モデムのプロパティ	? ×
全般 検出結果	
検出されたポートとインストールされているデバイス:	
ポート インストールされているデバイス そデムはインストールされていません かのいソインZZZ Modem GOM3 GOM3 GOM4 ABCDE F-Cable X	
, ドライバ(<u>D</u>) 詳細情報(<u>M</u>) ヘルプ(<u>F</u>	<u>p</u>
OK *	マンセル

<u>上記画面とは違い、「JRC USB Modem」に割り当てられた COM 番号(COM3)と重なっているモデム</u> が存在しない場合は**手順12**へ進んでください。上記画面のように「JRC USB Modem」に割り当てられ た COM 番号(COM3)と重なっているモデムが存在する場合は次の手順へ進んでください。

マイコンピュータのアイコンを右クリックし、プロパティを左クリックします。



7.システムのプロパティ画面になりますので、「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「JRC USB Modem」と COM 番号が重なっているモデムを確認します。

システムのプロパティ	? ×
全般 デバイス マネージャ ハードウェア プロファイル パフォーマン	ス
 ● 種類加に表示① ● 接続別に表示② 	
	ED,届り(<u>N</u>)
	3る キャンセル

8.モデム<u>「XXXYYYZZZ Modem」</u>を右クリックし、プロパティを開きます。



XXXYYYZZZ Modemのプロパティ	? ×
全般 モデム 接続 ドライバ リソース	
>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	
デバイスの種類: モデム 製造元: XXXYYYZZZ	
ハードウエアのハーション: 000	
このデバイスは正常に動作しています。	
デバイスの使用 のハードウェア フロファイルで使用不可にする(D) すべてのハードウェア フロファイルで使用する(E)	
OK +v	ンセル

<u>上記の箇所をチェック致しますと、モデム「XXXYYYZZZ Modem」を使用することができなくなりますの</u> でご注意ください。

<u>
尚、上記の操作によりパソコンの再起動を求められた場合(手順22)は、パソコンを再起動後、手順6</u>
<u>
手順7 手順10</u>と進んでください。

10. デバイスマネージャの画面に戻りますので、使用不可にしたモデムに<u>赤い×印</u>がついていることを確認 ()し、デバイスマネージャを閉じます。

システムのプロパティ	? ×
全般 「デバイス マネージャ ハードウェア プロファイル パフォーマンス	
□ ● ● ■ サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ	▲
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	
■	
□ ■ ■ ネットワーク アダプタ	
田・雪 ハード ディスクロントローラ	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	
■ 👽 メモリ テクノロジー ドライバ (MTD)	
E Se USP Modem	
□ 🖻 🚭 ユニバーサル シリアル バス コントローラ	-
プロパティ(R) (更新(F) (肖順金(E)) (印刷(N).	
	- Frank
	セル

赤い×印がついていなかった場合は、再度手順8~手順9を繰り返してください。

11.モデムのプロパティを開き、検出結果タブをクリックします(手順2~手順4)。

モデムのプロパティ		? ×
全般 検出編	課	
#	ままれたポートとインストールされているデバイス:	
, I		
ポート	インストールされているデバイス	
COM1	モデムはインストールされていません	_
COM3	XXXYYYZZZ Modem	
I COM3	JRC USB Modern	
COM4	ABCDE F-Cable X	
, 		
<u> </u>	<u>D)</u>	
	OK +v	1711

12.「JRC USB Modem」に割り当てられている COM 番号(COM3)をクリックした後、「詳細情報」をクリック します。

全般 検出結果 検出されたポートとインストールされているデバイス: ポート インストールされているデバイス COM1 モデムはインストールされていません COM3 XXXYYYZZZ Modem → COM3 JRC USB Modem
★出されたポートとインストールされているデバイス: ポート インストールされているデバイス くのM1 モデムはインストールされていません ◆COM3 XXXYYYZZZ Modem ◆COM3 JRC USB Modem
ポート インストールされているデバイス COM1 モデムはインストールされていません COM3 XXXYYYZZZ Modem COM3 JRC USB Modem ADOD5.5.0.11.X
GCOM1 モデムはインストールされていません 今COM3 XXXYYYZZZ Modem 今COM3 JRC USB Modem
COM3 XXXYYYZZZ Modem
ドライバ(D) 詳細情報(M) ヘルプ(H)

13.下記のような詳細情報が取得できたかどうかを確認します()。

詳細情報	
ーポートの情報	iជ ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ
ポート:	COM3
割り込み	: 0
アドレス:	0
UART:	
最高速度	€: 115K ボー
	Madam
- JRC USB 識別子:	USB¥USR0090
ATTI	OK
ATI2	PHS
ATI3 ATI4	JRC AH-, 13002\/
ATI5	2003/00/00 Ver. 1.00
ATI6	0700000000
AT+FC	LA ERROR
	OK I

コマンド ATI4 ~ ATI6 に対する応答については、お使いの電話機により異なりますが、上記のような詳細 情報が取得できれば、モデムとの通信が可能となりましたので、このままお使いください。ここで詳細情報 の取得が出来なかった場合は、次の手順へ進んでください。 14.マイコンピュータのアイコンを右クリックし、プロパティを左クリックする。



15.システムのプロパティ画面が表示されますので、「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「仮想赤外線ボー ト(COM)」、「仮想赤外線ボート(LPT)」、「赤外線通信デバイス()」が存在するかどうかを確認します。

システムのプロパティ ? 🔀
全般 デバイス マネージャ ハードウェア プロファイル パフォーマンス
 ● 種類別に表示(T) ● 接続別に表示(C)
中野 ネットワーク アダプタ アッピー ディスク コントローラ フロッピー ディスク コントローラ フロッピー ディスク コントローラ アッピー ディスク コントローラ アップス ポート (COM / LPT) ⑦ 仮想赤外線 COM ポート ⑦ 仮想赤外線 COM ポート ⑦ 仮想赤外線 LPT ポート ⑦ 四日ホート (COMI) マウス モニタ モニタ モニタ モニタ モニバーサル シリアル バス コントローラ 赤外線通信デバイス
プロパティ(R) 更新(E) 削除(E) 印刷(N)
 OK キャンセル

表記が異なる場合もあります。

上記画面とは違い、「仮想赤外線ポート(COM)」、「仮想赤外線ポート(LPT)」、「赤外線通信デバイス」が 存在していない場合は、電話機から USB ケーブルをはずし、<u>パソコンの再起動</u>を行った後、再度電話機に USB ケーブルを接続して<u>手順24</u>へ進んでください。 16.**「仮想赤外線ボート(COM)」**を右クリックし、プロパティを開きます。

システムのプロパティ <u>?</u>	×
全般 デバイス マネージャ ハードウェア プロファイル パフォーマンス	
 ● 種類則に表示(①) ● 接続別に表示(<u>○</u>) 	
 ■ ■ ネットワーク アダプタ ● ● ハード ディスク コントローラ ● フロッピー ディスク コントローラ ● アード ディスク コントローラ ● アード (COM / LPT) ● JRC USB Ports ● ブリンタ ボート (LPT1) ● (成想赤外線 COM ボー・ ● (成想赤外線 COM ボー・ ● (成想赤外線 COM ボー・ ● (広想赤外線 COM ボー・ ● (広想赤外線 COM ボー・ ● (広想赤外線 COM ボー・ ● (LPT1) ● (LP	
プロパティ(R) 更新(E) 削除(E) 印刷(N)	
OK キャンセル	

赤外線シリアル (COM) ポート のプロパティ	? ×
全般 ドライバ	
の想赤外線 COM ポート	
デバイスの種類: ポート (COM / LPT)	
製造元: Microsoft ハードウェアのバージョン: 情報なし	
「デバイスの状態――――	
このデバイスは正常に動作しています。	
ーデバイスの使用	
のハードウェアプロファイルで使用へ可にする(D)	
▼ すべてのハードウェア プロファイルで使用する(E)	
	91 - I

<u>上記の箇所をチェック致しますと、仮想赤外線COMポートを使用することができなくなりますのでご注意</u> <u>〈ださい。</u>

<u>尚、上記の操作によりパソコンの再起動を求められた場合(手順22)は、パソコンを再起動後、手順14</u> **手順15 手順18**と進んでください。 18.<u>「仮想赤外線ポート(COM)」</u>に<mark>赤い×印</mark>がついていることを確認()後、<u>「仮想赤外線ポート(LPT)」</u>を 右クリックし、プロパティを開きます。



赤い×印がついていなかった場合は、再度手順16~手順17を繰り返してください。

赤外線プリンタ (LPT) ポートのプロパティ	? ×
全般 ドライバ	
の想赤外線 LPT ポート	
デバイスの種類: ボート (COM / LPT)	
製造元: Microsoft ハードウェアのバージョン: 情報なし	
デデバイスの状態	
このデバイスは正常に動作しています。	
デバイスの使用	
▼ 9へ(0//~ド/I/ /U/?1//C12/H9る/E/	

<u>上記の箇所をチェック致しますと、仮想赤外線 LPT ポートを使用することができなくなりますのでご注意</u> <u>〈ださい。</u>

<u>尚、上記の操作によりパソコンの再起動を求められた場合(手順22)は、パソコンを再起動後、手順14</u> **手順15 手順20**と進んでください。 20. 「**仮想赤外線ボート(LPT)」**に赤い×印がついていることを確認()後、「赤外線通信デバイス」</u>を右クリックし、プロパティを開きます。



赤い×印がついていなかった場合は、再度手順18~手順19を繰り返してください。

赤外線通信デバイスのプロパティ	? ×
全般 ドライバ	
赤外線通信デバイス	
デバイスの種類: 赤外線	
製造元: Microsoft ハードウェアのバージョン: 情報なし	
テデバイスの状態	
このデバイスは正常に動作しています。	
 _ デ <u>バ</u> イスの使用	
(のハードウェア ブロファイルで使用不可にする(D)	
■ このハードウェア プロファイルから削除する(R)	
OK ++>	セル

上記の箇所をチェック致しますと、赤外線通信デバイスを使用することができなくなりますのでご注意ください。

22.パソコンの再起動を行います(下記メッセージにより再起動を促されます)。



上記メッセージが表示されなかった場合でも、パソコンの再起動を行ってください。

23.パソコンが起動しましたら、再度デバイスマネージャを開き(手順14 手順15)、「赤外線通信デバイス」 に赤い×印がついていることを確認します()。

システムのプロパティ ?>
全般 デバイス マネージャ ハードウェア プロファイル [パフォーマンス]
 ● 種類別に表示① ● 接続別に表示②
■ ディスク ドライブ
ロー 🖳 ディスプレイ アダプタ
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
ם 🔁 🔁 דביצל בייד בייד בייד בייד בייד בייד בייד ביי
□ □ □ - 🖉 ポート (COM / LPT)
JRC USB Ports
עלד 🖉 🖽
由 🤐 モデム
国本学 モニター 南京会 フェバーサル シリアル バス ゴントローラ
📃 👘 🧝 赤外線通信デバイス 📃 📃
OKキャンセル

「仮想赤外線ポート(COM)」、「仮想赤外線ポート(LPT)」がデバイスマネージャ上から消えている場合も あります(赤外線通信デバイスを使用可能にすると現れます)。もし<u>赤い×印</u>がついていなかった場合は、 再度手順20~手順21を繰り返してください。

24. モデムのプロパティを開き、「詳細情報」の取得を行います(手順11~手順13)。

ここで手順13のような詳細情報が取得できた場合はモデムとの通信が可能となりましたので、このままお使いください。詳細情報の取得が行えなかった場合は、JRC サポートセンターまでお問い合わせください。

JRC サポートセンター 一般電話から: Tel. 0570-003899 ウィルコムの電話・携帯電話から: Tel. 0422-45-7772 受付時間: 9:00~17:00(土日祝祭日除く)